



鳥栖市立基里中学校 学校だより

きりの里 第15号

令和3年12月20日 校長 牟田美弥子

☆ 2 学期後半の教科「日本語」は、 礼儀作法、和装・和食、茶道の学習

3年間で計画的に学習を進めている教科「日本語」です。2学期の後半は、講師に佐藤喜良子先生ご一門6名と中川原トモ江先生をお招きして、1年生は礼儀作法、2年生は和装と和食、3年生は茶道の学習を行いました。



1 年生 礼儀作法 ～体幹を整えて、一礼～



2 年生 和装 ～浴衣の着付けを体験～



2 年生 和食 ～蓋付き椀と箸の作法を学ぶ～

1、2年生に礼儀作法と和装・和食をご指導いただいた佐藤先生にお話を聞きました。

「1年生は、もともと姿勢が良く、作法の吸収が速かったです。古武道で体幹を整えることを紹介したら、すぐに実践できていて驚きました。ほとんど手直しがありませんでした」

「2年生は、初めて和装をしたという人が多かったのに、着付けた後には柔らかさやりりしさを感じました。自分でも和装することが精神に及ぼす力を感じてくれたと思います。着物のたたみ方の吸収も速くて感動しました」



3 年生 茶道 ～お茶会を体験～

3年生に茶道の作法をご指導いただいた中川原先生にお話を聞きました。

「3年生は、1年の時に学習した礼儀作法がしっかり身に付いていると感じました。茶道で何度も行うお辞儀がとてもきれいでした。話の聞き方もとても素晴らしかったです。“お点前（てまえ）頂戴いたします”は“いただきます”という感謝の言葉、“お先に”は周りの人への配慮を表す言葉など、茶道の作法は特別なものではなく、私たちの日常生活の中に生きているということを感じてくれたと思います」

会場となったホールには、畳が敷かれ、茶釜と掛け軸をしつらえてありました。みんなでいただいたお菓子とお抹茶の味、長時間の正座で足が痛くなったことも思い出の1つに加わることでしょう。